



**Katoh
Gakuen
Gyoshu
Junior and
Senior High
School
Bilingual
Program**

Middle Years Programme Community & Service Parent Handbook

MYP コミュニティと奉(C&S) ハンドブック



“To nurture students to become active, wise and caring shapers of our multicultural, multilingual world.”

目次

コミュニティと奉仕（C&S）の目標	3
コミュニティと奉仕（C&S）の概要	3
コミュニティと奉仕（C&S）の実施手順.....	5
コミュニティと奉仕（C&S）カレンダー.....	12
コミュニティと奉仕（C&S）活動例	13

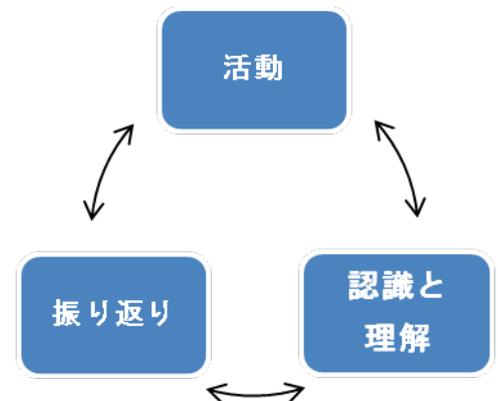
コミュニティと奉仕（C&S）の目標

- コミュニティという概念、そして、自分が様々なコミュニティの一員であることを認識する。
- 自分の生活を振り返り、自分の得意分野と苦手分野を把握するとともに、コミュニティ内において多様な活動が意味するものを理解する。
- コミュニティ内での問題を解決することに積極的に参加する。
- 他の人が必要としているニーズに応え、また、新しいことや新しい役割に挑戦する。

コミュニティと奉仕（C&S）の概要

コミュニティと奉仕における重要な問いかけ

- 他の人とどのように関わって生きているのだろうか？
- 自分は、コミュニティにどのように貢献できるのだろうか？
- どのように人の手助けができるのだろうか？



コミュニティに対する認識と理解

生徒は、コミュニティに対する関心を高め、コミュニティとは何かを把握すると同時に、その複雑さや多様な形態を理解することが求められます。

振り返り

振り返りは、C&S活動にとってなくてはならない要素であり、ニーズに対する対応の質とともに、何を必要としているのかについての認識を高めるものです。生徒が前向きな態度を身に付け、自己の長所と短所を認識する上でも役立ちます。また、教師と学校が、個人レベル及び学校レベルにおけるコミュニティと奉仕（C&S）の活動状況を把握することも可能にします。

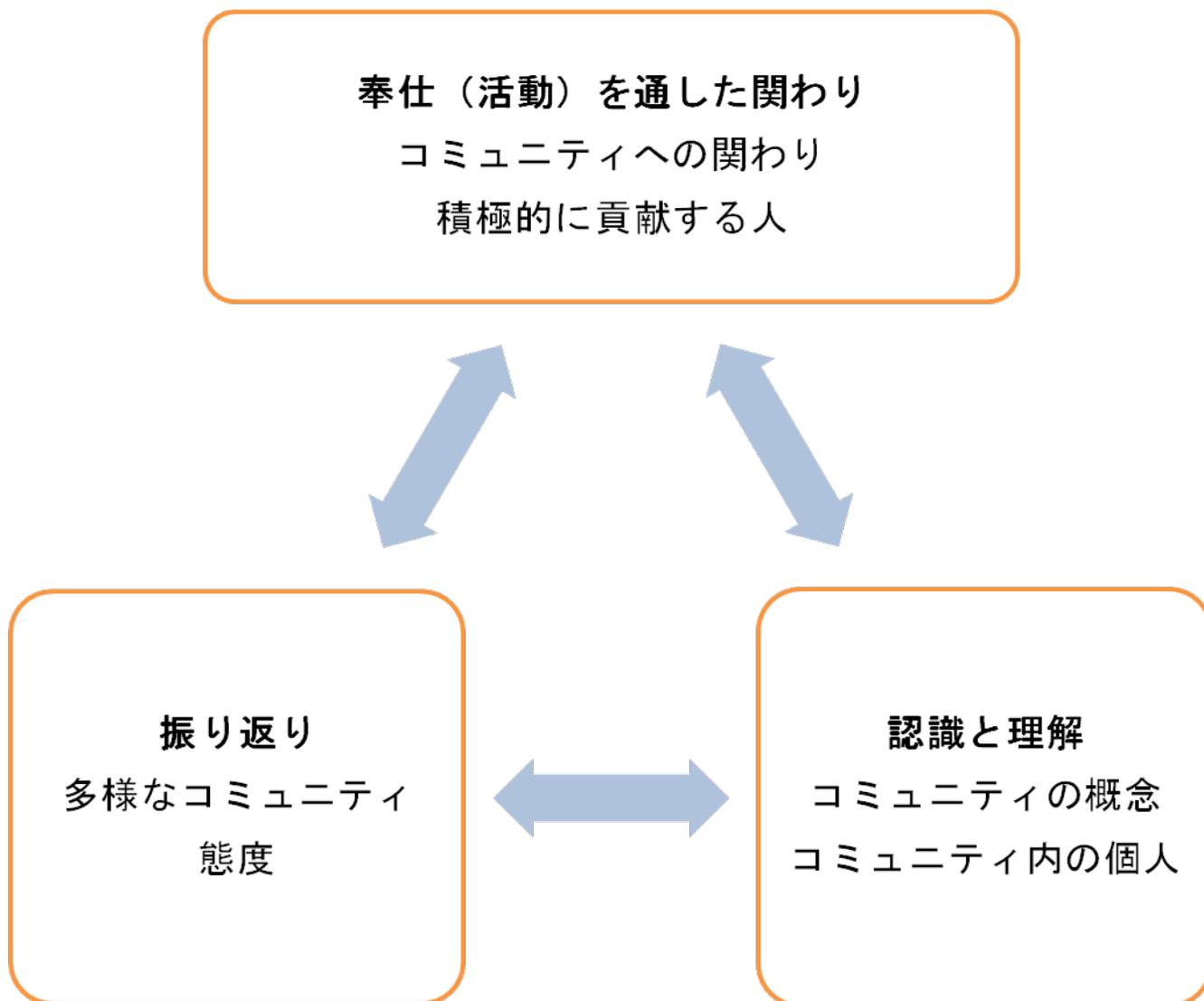
奉仕を通じた関わり

生徒は、どのようにすれば自分のコミュニティに前向きに関わることができるかを考える必要があります。さらに、様々なコミュニティの活動的な一員であることが、自分にとっていかに有意義であるかを考えることが求められます。コミュニティと奉仕において行われるあらゆる関わりは、奉仕を受ける側だけでなく奉仕をする側も恩恵を受けると考えなければなりません。

継続的に行われる振り返りを導き、また生徒の活動に対する形成的評価を可能にする手段として下記の方法が挙げられます。

- 活動の記録とその活動がもたらしたものに関する記録
- グループディスカッション
- 活動の発表
- 生徒主導のコンファレンス

生徒に求められる学習



コミュニティと奉仕（C&S）の実手順

1. 計画準備

コミュニティと奉仕（C&S）活動に取り掛かる前に、自己分析を通して、C&S活動によりどのようなことを達成したいのか個人的目標を定める必要があります。自分が興味を持つものや、本当に関心を抱いている事柄を選択します。C&S活動においてもっとも重要なのは生徒自身のやる気であり、モチベーションです。（ManageBacのアンケートや用紙を完成させましょう。）

2. C&S計画の作成

各生徒が、学校コミュニティや地域コミュニティ、国内コミュニティ、国際コミュニティなど様々なC&S活動に参加することになります。友達が参加しているからといった単純な理由で参加してはいけません。C&Sの趣旨は、人の役に立つ働きをすることであって、友達と過ごすことではありません。学期ごとに計画を立て、決められた時数分を実施するようにしましょう。先延ばしにして、締め切り間際にあわてて取り掛かることがないように気をつけましょう。

「コミュニティと奉仕」年間活動時間数

中1(1-4)	中2(2-4)	中3(3-4)	高1(1-2)
10 時間	20 時間	30 時間	30 時間
校内と校外の両方で活動することが求められます。			

Name: _____ Class: _____ Date: _____

ACTIVITY 1: AWARENESS

How do you define community?

What are the needs of our community?

How does your service relate to the needs of our community?

Name: _____ Class: _____ Date: _____

ACTIVITY 2: A PERSONAL INVENTORY

- List the subjects you like most in school.
- List activities in which you participate regularly (sports, music, drama, etc.).
- State your career interests.

Name: _____ Class: _____ Date: _____

ACTIVITY 3: C&S SCHOOL YEAR PLAN

List down the school activities you need to be involved in this year. Make it something that serves your school community!

Term	School Activities	Comments
1	Cultural Festival and Sports Day	
	IB Exhibit	
	Committee Duties	
	Peer Tutoring	
2	Bazaar	
	Senbon Beach Cleaning (1H)	
	Fuji Cleaning (1-4)	
	Committee Duties	
	Iowa Information Session (2-4)	
3 (February only)	Committee Duties	
	Peer Tutoring	

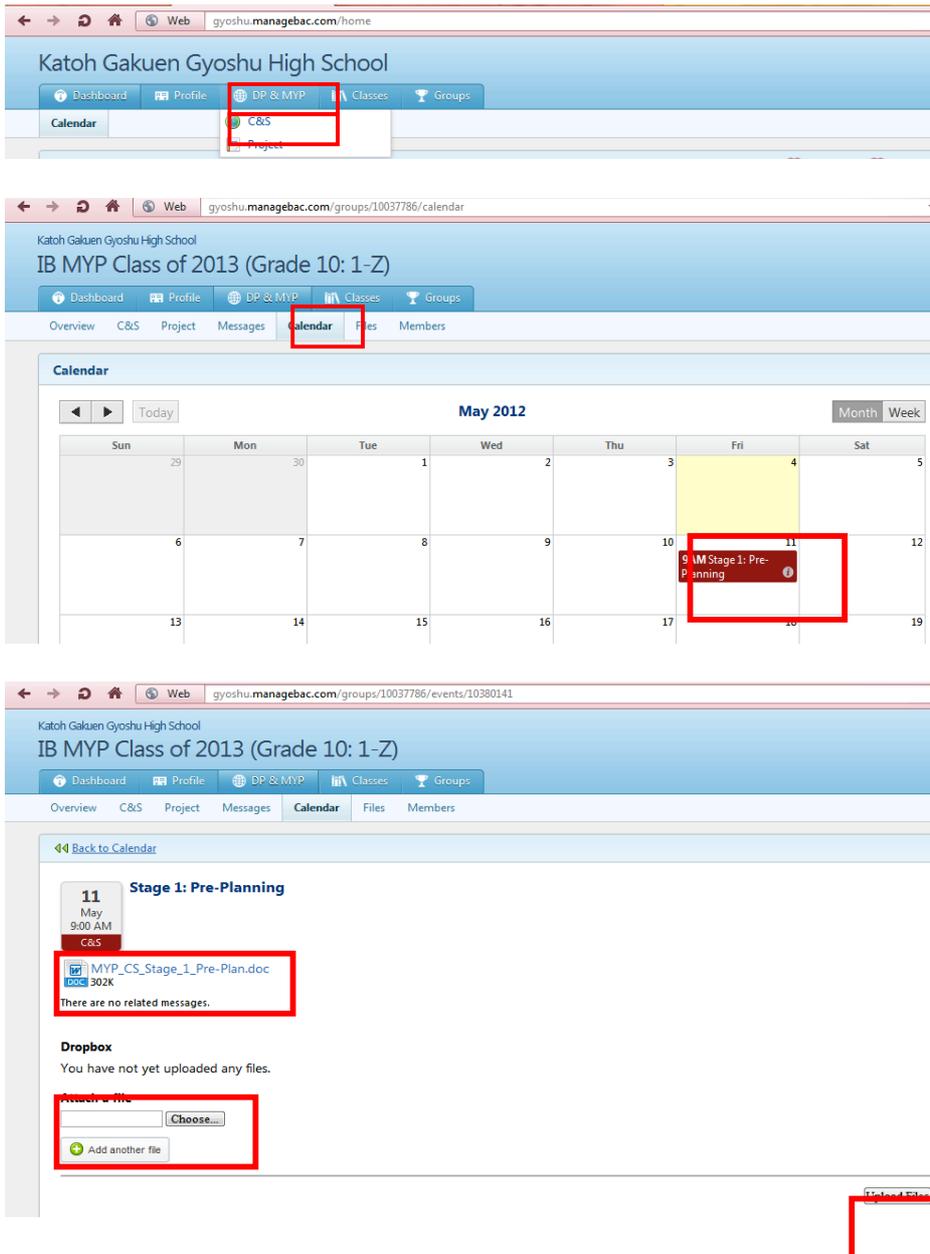
Name: _____ Class: _____ Date: _____

ACTIVITY 4: C&S OUT-OF-SCHOOL YEAR PLAN

List down the out-of-school activities you wish to complete this year. Make it something you are interested in... and make it something that serves your local or national or international community!

Out-of-School Activities	Date/Month
1. Shizuoka Summer Volunteer Program	
2. Free the Children	
3. Assisting Kindergarten Teachers	

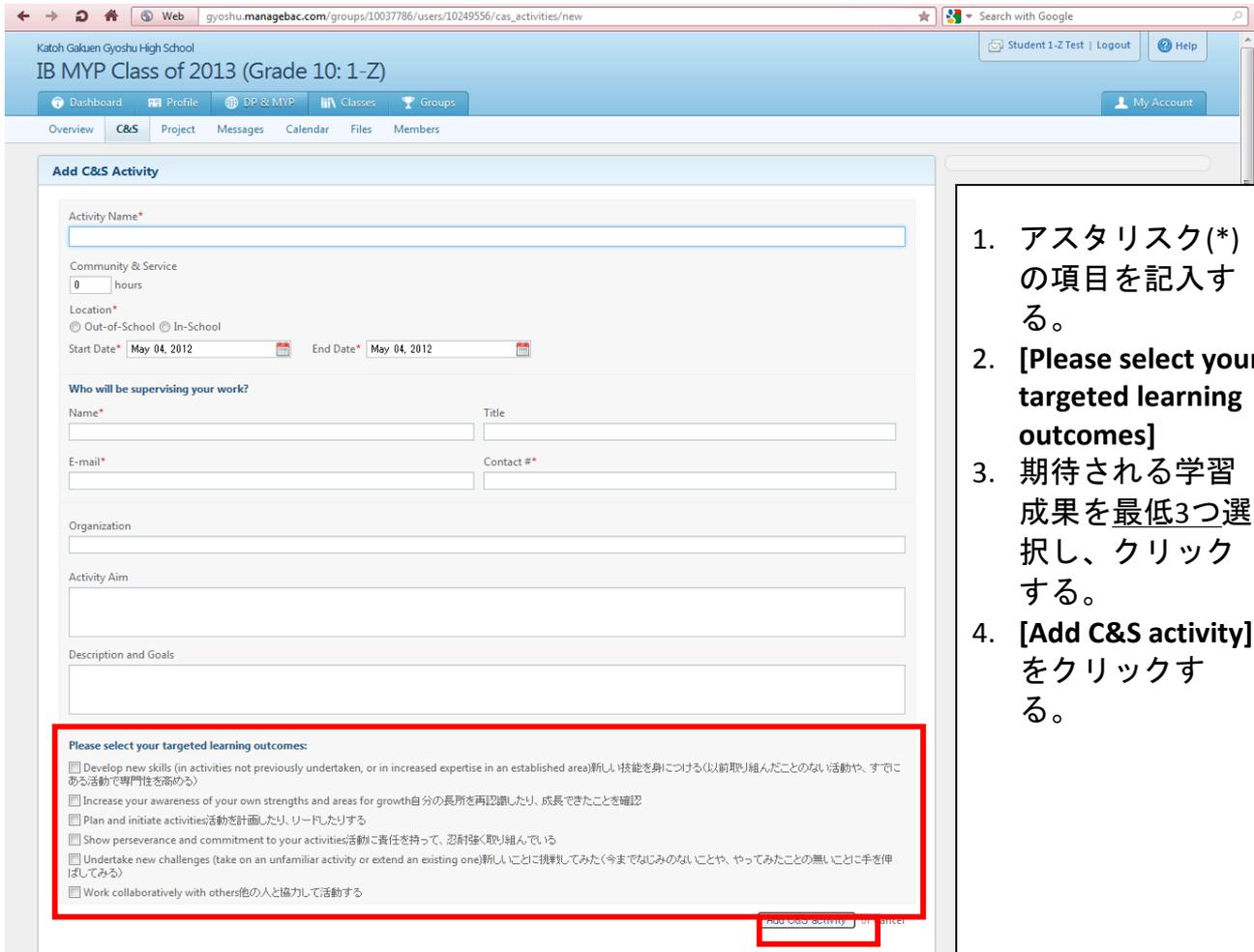
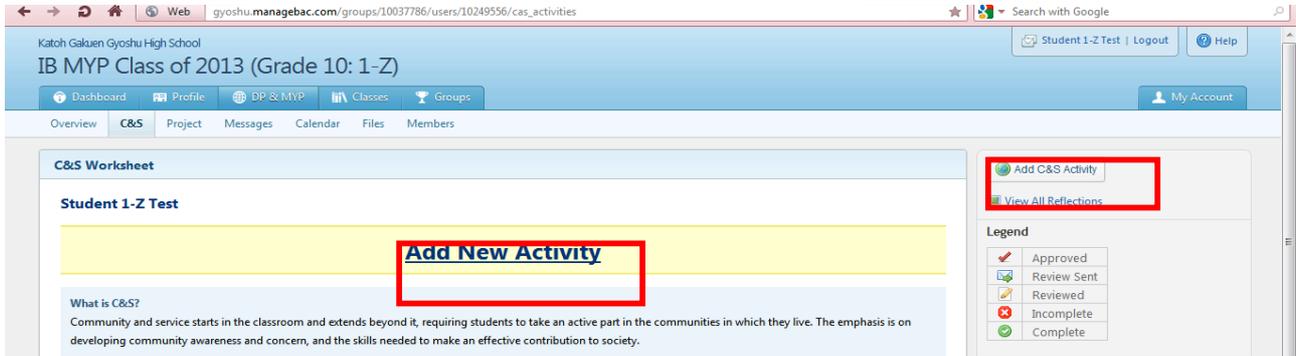
上記の用紙はManageBacから入手できます。



1. [DP & MYP]をクリック
2. [C&S] をクリック
3. [Calendar] をクリック
4. 該当する締切日をクリック
5. 必要なワードファイルを自分のコンピュータにダウンロードする。
6. [Pre-plan questionnaire] に記入し自分のコンピュータに保存する。
7. 保存したファイルをアップロードする。
[Attach a file]→
[Choose]をクリック
8. 自分のコンピュータに保存したファイルを選択し、[Open]をクリックする。

3. C&S計画の実施

- C&S活動を計画、実施し、その後、活動を通して学んだ内容を振り返ります。
- **活動を開始する前に、必ずその内容についてC&Sコーディネーターから認可を得る必要があります。**
- C&S活動として認められてから、ManageBacの[Add New Activity]タブ、あるいは、[Add C&S activity]から必要な文書にアクセスし、入力します。



1. アスタリスク(*)の項目を記入する。
2. [Please select your targeted learning outcomes]
3. 期待される学習成果を最低3つ選択し、クリックする。
4. [Add C&S activity] をクリックする。

4. C&Sクエスチョン

- C&Sクエスチョンは、自分のC&S体験を振り返る際に役立つものです。各C&S活動に対してあらかじめ選択した学習成果に関する質問に答えます。
- 与えられた質問各事項に対して3-5文の答えを記入するようにします。

The image consists of three screenshots of the ManageBac web application interface, showing the C&S (Community & Service) worksheet and activity details for a student named Student 1-Z Test.

Top Screenshot: Shows the C&S Worksheet overview. The activity "Free the Children-Culture Festival" is highlighted with a red box. The table below shows the activity's progress:

Activity	Outcomes	Reflections	Status
Free the Children-Culture Festival	3	0	Needs Approval

Middle Screenshot: Shows the activity details for "Free the Children-Culture Festival 2 hours Community & Service". The "C&S Questions" option is highlighted with a red box in the "Next steps" section.

Bottom Screenshot: Shows the "C&S Questions" section, which contains four questions for reflection:

- How have maintained your perseverance and commitment throughout the activity? (Commitment)
- How can I apply the skills that I have learned or developed more widely? (New Skills)
- What did I learn? (All Outcomes)
- How successful was your collaboration with others? (Collaboration)

5. 活動を示す証拠

自分が行ったC&S活動を示す証拠を提出する必要があります。活動の証拠としては、下記のうち1つが考えられます。

- 自分が活動を行っている際の写真（写真に写っている人々の承諾を必ず得た上で提出すること）
- 活動責任者による活動概要と評価シート
- ジャーナルやポートフォリオ、メモ、スクラップブック、署名済み契約書の写真
- 活動を行っている自分を撮ったビデオ



1. [Reflections]タブに行く。
2. [Add]にいき、自分の活動証拠として提出するファイルのタイプを選択する。
3. 保存したファイルをアップロードする。[Attach a file] → [Choose]をクリックする。
4. 自分のコンピューターに保存したファイルを検索し、選択したら、[Open]をクリックする。
5. 活動に対してあらかじめ選択していた[Outcomes]を確認する。

Quick Tip

To edit or delete the activity, simply hover your mouse over the activity name



振り返りを導く問いかけ

IB コミュニティと奉仕プログラムでは、自らの学習に対する振り返りが求められています。これは、自分が達成したことに対する証拠としての役割を果たすだけでなく、各活動からできるだけたくさんの成果を引き出すことができるよう生徒自身を手助けするものでもあります。何について書くのかわからない場合、下記に挙げられる質問に答えることが推奨されます。これらは、自分の経験について批判的に考えるよう導くものです。

自分の C&S 活動を振り返り、その省察（中 1 は最低 100 ワード、中 2 は最低 150 ワード、中 3 は最低 200 ワード、高 1 は最低 250 ワード）を記入します。下記の質問に答えることによって、各活動に対する振り返りを記入することができます。

1. この活動でどのようなことを行ったか要約する。（どんなことを計画したのか。なにをしたのか。）
 2. この活動のもっとも有益な、あるいは、やりがいのある側面は何だったか。
 3. どのようなことを困難と感じたか、あるいは、不安に思ったか。それはなぜ起こったのか。
 4. テーマについて何を学んだのか。（ボランティアを行った分野について今ではどんなことを理解しているのか。何を学んだのか。）
 5. 自分の人生や他者の人生にこの経験がどのような変化、あるいは、影響を及ぼしたのか。（自分や他者にとってこの活動の意義は何か。）
 6. 過程を通して、自分自身について何を学んだのか。（自分の個人的強みや課題は何か。）
 7. この活動を通して、学習者像のどの属性を示したのか。
 8. この活動が自分の学業やキャリアプラン、価値観にどのようなつながりを持つのか。
 9. どのようにして、この学習をより広く応用することができるのだろうか。
 10. この活動を楽しんだか。この活動をまた行いたいと思うか。なぜそう思うのか、あるいは、なぜそう思わないのか。
 11. この C&S 活動を他の生徒に勧めたいと思うか？それはなぜか？
 12. 自分の活動が、新しいことを試したり、なじみのない分野を開拓したりするきっかけとなったか。
- 自分の学校コミュニティ、地域コミュニティ、あるいは、グローバルコミュニティにおいてどのような影響を及ぼしたか。
13. どのような成果が得られたのか。
 14. 自分の学習成果を達成することができたのか。

6. MYPコミュニティと奉仕（C&S）ManageBacファイル

- 自分のコミュニティと奉仕（C&S）ファイルをManageBacにおいて管理するのは生徒自身の責任となります。
- 生徒は、すべてのファイル、あるいは、文書を常に更新し保存する必要があります。
- 生徒のファイルは、定期的にC&SコーディネーターやHR担任、MYPコーディネーターがチェックします。

The screenshot shows the ManageBac interface for a C&S activity. The activity is titled "Free the Children-Culture Festival" and is categorized as "2 hours Community & Service" and "In-School". The supervisor is Carl Hadley. The page includes a "Journal" section with a "New note by Student 1-Z Test" and a "Save note" button. In the "Next steps" section, the "Request Supervisor Review" button is highlighted with a red box. A callout box on the right side of the page contains the following text:

自分の活動を記録し、振り返りを提出したら、[Request Supervisor Review] をクリックする。

ManageBacでは次の記号が用いられます。

 Excellent
 On-track
 Concern
 To Be Determined

Legend

	Approved
	Review Sent
	Reviewed
	Incomplete
	Complete

コミュニティと奉仕（C&S）カレンダー

実施年月	内容
2013年4月－5月	C&S説明会 C&Sハンドブックを熟読 C&Sについて質問があればC&Sコーディネーターと話し合う
2013年5月－6月	活動の実施、証拠集め、振り返りの記入： 学内活動と個々の活動
2013年7月	進行状況のチェック（学期末） 夏休みC&S活動の計画
2013年8月	活動の実施、証拠集め、振り返りの記入： 個々の夏休みC&S活動
2013年9月－11月	活動の実施、証拠集め、振り返りの記入： 学内活動と個々の活動
2013年12月	進行状況のチェック（学期末） 冬休みC&S活動の計画
2014年2月	残りの活動の実施、証拠集め、振り返りの記入： 学内活動と個々の活動
2014年3月	コミュニティと奉仕（C&S）発表会（仮）

毎月：活動の進み具合についてグループメンバーと話し合う。必要に応じて、HR担任やMYPコーディネーターと面接する。自分の振り返りが最新のものに更新されているかを確認する。写真やビデオを撮り、記録を保管する。

コミュニティと奉仕（C&S）活動例

C&S活動を計画する際、次のような特性を備えた活動を選択するようにします。

- グループ活動
- 活動期間や生徒に求められる献身の度合いが様々な活動。平凡でつまらない活動ではないようにする。
- 新しい技能を学ぶことができるような活動
- 国際的な（あるいは、地域的、全国的）プロジェクトへの参加
- 他の人との協調を促すような活動
- 活動責任者の指導のもと、自分が主導する活動をひとつ

すべてのC&S活動は、実際に活動に取り掛かる前に、C&Sコーディネーターの事前承認を得る必要があります。いかなるC&S活動も平凡でつまらないものであってはいけません。責任を持って取り組むような活動を検討しましょう。重要なのはC&S活動の質であり、何時間費やしたかではありません。

最も重要なことは、C&S活動に対する自分の態度、そして、学んだことにおける振り返りだということを覚えておきましょう。

暁秀におけるコミュニティと奉仕（C&S）活動

1. 学校内・カリキュラム内活動

相互作用のエリア（AOI）のコミュニティと奉仕に焦点をおいた活動は、カリキュラム内に組み込まれており、教科学習の授業内で実施します。MYPを通して学年ごとに発展させて取り組んでいくこととなります。生徒は、活動を通してコミュニティに対する意識を一層強めていきます。

コミュニティと奉仕（C&S）組織としての学校：学校活動の補助をするような活動は、個人活動として認められます。例として、保護者会の会場設定、読み聞かせ、苦手科目のある人に得意な人が教えるなど、学校コミュニティ全体に貢献する内容で自分の時間を費やした奉仕などが挙げられます。運動部などの部活動に参加するというだけでは、これにあたりません。

コミュニティと奉仕（C&S）として認められる学内活動の例

- 文化祭や体育祭
- IB 展示
- 委員会活動
- 生徒間指導
- バザー
- 千本浜清掃（中学）
- 富士山清掃（中1）
- アイオワ説明会（中2）
- 生徒会活動や組織への貢献

- 他の生徒の補助（特別なニーズを抱える生徒、あるいは、編入生に対する日本語の補助など）
- スポーツ部活動の補助

2.個人としての取り組み

生徒が興味関心に基づいて選んだ活動。カリキュラムとの直接的な結びつきはなく、学校外で活動に取り組みます。学校が紹介する形の活動も含まれます。活動を開始する前に、コミュニティと奉仕（C&S）コーディネーターからの事前承認を得てから取り組むことになります。

認められる活動：大抵のコミュニティと奉仕活動は適切といえます。授業時間外における教師の補助、近所でのベビーシッター、困っている人へのケアパッケージ送付、ビーチ清掃、学校行事の企画、課外活動の手伝い、ARKやフリー・ザ・チルドレンなどの組織でのボランティア活動などは、すべて活動の良い例といえます。これらの奉仕活動は、報酬を受け取ったりしてはならず、生徒の身近な家族以外の誰かの利益になるものとし、組織は、「営利目的」の組織ではいけません。

学校外C&S活動の例

- 学校とアムネスティなどの国際組織の連携を図った活動
- 幼稚園や小学校でのボランティア活動
- 小学校低学年の子どもたちを対象とした活動
- 独り暮らしの高齢者を定期的に訪問し、なんらかの貢献をする
- 高齢者センターなどの地域グループと連携を持ち、貢献する